



2018年10月12日

Press Release

AIG Japan Holdings  
Kamiyacho MT Building, 3-20,  
Toranomom 4-chome,  
Minato-ku, Tokyo 105-0001  
Japan

## AIG ジャパンが LGBT 指標「PRIDE 指標」で 3 年連続最高評価を獲得

日本における AIG グループ(以下「AIG ジャパン」)は、任意団体 work with Pride(以下「wwP」)による LGBT 指標「PRIDE 指標」にて、3 年連続で最高評価の「ゴールド」を獲得いたしました。



左から 吉岡 利浩 (LGBT & Allies Rainbow ERG)、首藤 透 (ダイバーシティ&インクルージョン・カウンスル Co-Chairperson / AIG ジャパン・ホールディングス執行役員)

PRIDE 指標は「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度、プログラム」「社会貢献・渉外活動」の 5 項目から企業の LGBT などの性的マイノリティに関する取組みを評価するものです。AIG ジャパンがこれまでに実施してきた下記のような活動が評価され、3 年連続の「ゴールド」獲得につながりました。

- ディスクロージャー誌等の企業案内誌や行動指針に性的指向を含む多様性の尊重と受容に関するダイバーシティ&インクルージョン推進の方針や事例を記載。
- 2016 年に「LGBT & Allies Rainbow ERG (Employee Resource Group:社員ネットワークンググループ)」を設立。支援者 (Ally) を含むメンバー数は発足当初の 20 名から 200 名まで拡大し、様々なイベントや活動を行っている。
- 入社時研修や、管理職向けの研修時に、LGBT への理解や配慮についての内容を含めている。
- 社内報や社内ポスター、社内メルマガなどの配信を通じ、LGBT に関する情報を発信。
- AIG ジャパンのグループ各社の福利厚生制度における結婚および配偶者の定義に「同性婚」を追加。
- 社内イントラネットにて LGBT 当事者および管下に当事者社員を有するマネージャーに向けた社内制度 (福利厚生含む) 情報ページを掲載。
- マーケティングキャンペーン「Diversity is Strength」と連動し、各種イベント協賛などを実施。



FOR IMMEDIATE RELEASE

AIG ジャパンでは、ダイバーシティ&インクルージョンの取組みをボトムアップとトップダウンの双方から推進しており、経営陣を中心としたダイバーシティ & インクルージョン・カウンシルの Co-Chairperson を務める首藤 透 AIG ジャパン・ホールディングス執行役員は今回の表彰を受けて、「2014 年から積極的に進めてきたダイバーシティに関する取組みの積み重ねが、3 年連続のゴールド獲得につながりました。私たちの社会は、LGBTをはじめ、文化や年代、性別、ライフステージの違いや、障がいの有無など、異なる価値観を持った人々で構成されています。多様性を受け入れることは企業の成長だけではなく、お客さまへの新たな価値を提供することにもつながると信じています。」と述べました。

AIG ジャパンは、グローバルにビジネスを展開する AIG グループの一員として、様々なお客さまのリスクマネジメントを支援すべく、今後も社員やお客さまの多様性を尊重してまいります。

<AIGについて>

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、80 以上の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。

持株会社 AIG, Inc.はニューヨークおよび東京の証券取引所に上場しています。

日本では、AIG損害保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIGパートナーズ株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。